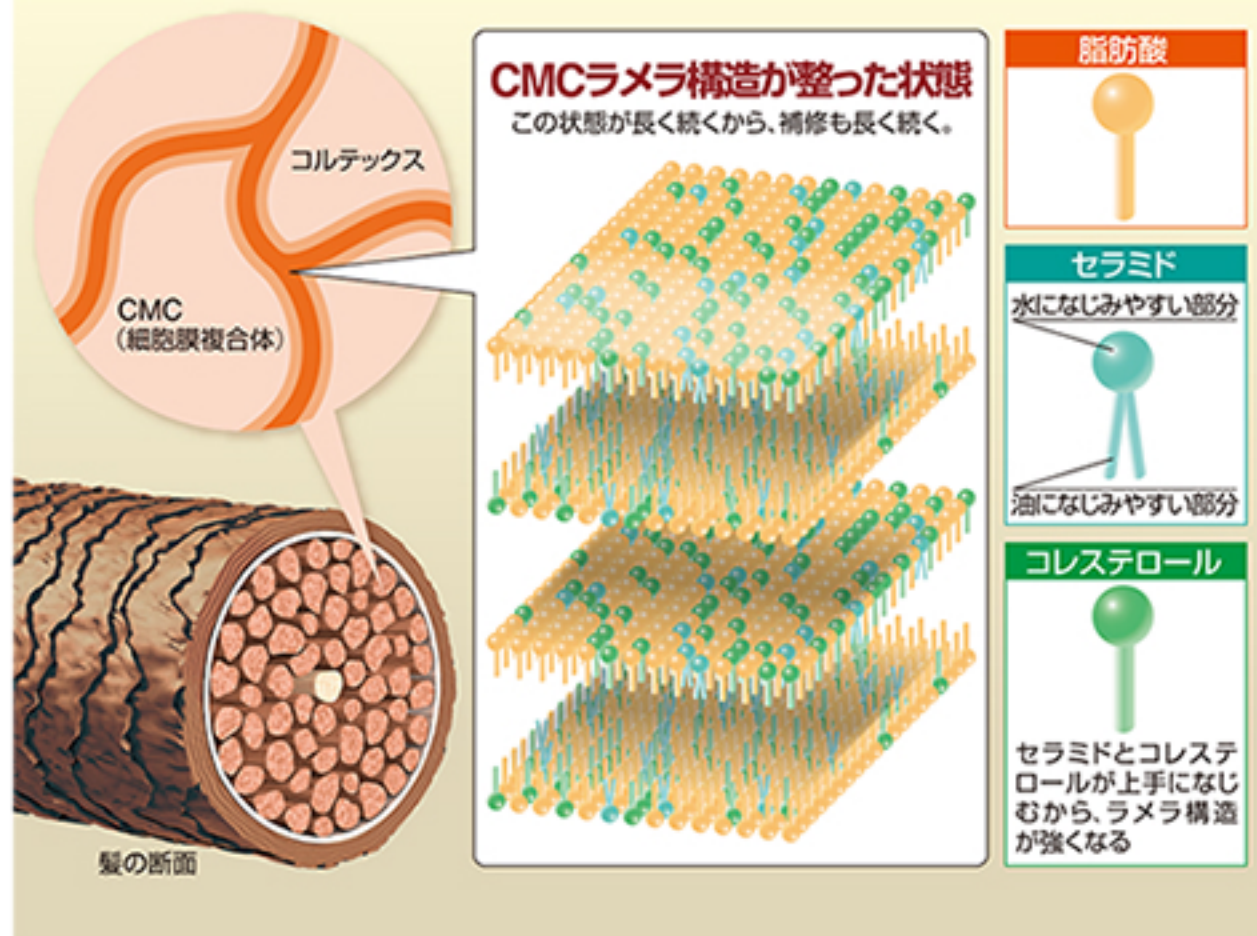


リケラエマルジョンは、

液晶性コレステロールと

AEDSケラチンで

CMC骨格再構築+キープして、
カサカサ・バサバサ髪の
CMC骨格を整える。



CMC骨格を作るワケ

1 AEDSケラチン※1

CMCはコルテックスとコルテックスの間にあるもの。コルテックスはケラチンでできており、ケラチン骨格が弱ければCMC骨格も弱くなる。だから、まずはケラチン骨格を補修する。

2 液晶コレステロールと5種類のセラミド※4

CMC骨格のポイントはラメラ構造。このラメラ構造をきれいに配列させるためには液晶コレステロールが重要。初めから液晶構造なので、よりラメラ構造を形成しやすい。また、コレステロールがラメラ構造接着の役割もするため、CMC骨格をキープする。

キープするワケ

1 ポリカチオンだから

AEDSケラチン※1がポリカチオン(=プラス電荷を多く持っている)だから、髪のダメージ部分(=マイナス部分)によく吸着する。

2 液晶・ナノ化だから

コレステロールは液晶化、セラミド※4はナノ化しているから、ラメラ構造をとりやすい。

3 濃密な油脂だから

天然の濃密なダマスクバラ花ロウ、シアバター※7、ライスバター※8、モリンガバター※9が補修成分を長くとどまらせる。

※1 アミノエチルジスルフィドケラチン ※2 加水分解コラーゲンPGプロピルメチルシランジオール ※3 加水分解シルク ※4 セラミドEOP、セラミドNG、セラミドNP、セラミドAG、セラミドAP ※5 クオタニウム-33 ※6 アルギニンエチルHCl ※7 シア脂 ※8 オレイン酸フィトステリル ※9 (モリンガ油/水添モリンガ油)エステルズ

・COLUMN・

やせ髪よ、さようなら ~ケラチン骨格とCMC骨格~

髪の骨格には、ケラチン骨格とCMC骨格がある。ケラチン骨格とは、毛髪の主成分であるケラチンが形成する主骨格で、ケラチン同士がジスルフィド結合(S-S結合)という強い結合でつながって毛髪を形成。CMC骨格は、ケラチン骨格の間に存在し、ケラチン同士を接着して支える骨格のこと。これはラメラ構造とも呼ばれており、セラミド・コレステロール・18-MEAなどのCMC成分が規則正しく並んで形成する。

このケラチンやCMCは年を重ねるとともに減少し、やせ髪になっていく。これがエイジングヘアの特徴。健康毛であれば耐えられるカラーやパーマでも、エイジングヘアには過酷。ケラチン骨格やCMC骨格が崩れるほどダメージが大きく、髪がカサカサ・バサバサになる。髪の骨格を見直して、そんな髪はもう卒業しよう。

